

4月25日 “交通事故死ゼロの日” 5,000日達成



▲宮川後志総合振興局長から知事感謝状の贈呈を受ける松井町長

去る4月25日に交通事故死ゼロ5千日を達成した町に対し、5月13日、総合文化センターで高橋はるみ北海道知事からの感謝状と北海道交通安全推進委員会長からの表彰状が贈られ、それぞれ宮川後志総合振興局長と三田村北海道交通安全推進委員長より松井町長が贈呈を受けました。

宮川後志総合振興局長と青山余市警察署長の祝辞に続き、松井町長が「町民や関係機関の皆さんの並々ならぬ交通安全運動へのご協力に改めて感謝を申し上げます。この5千日をひとつの契機として、更に記録を伸ばせるよう、住民一丸となつて運動を続けていきたい」と謝辞を述べました。



この記録はオホーツク管内西興部村、十勝管内陸別町に続き道内で第3位であり、積丹町は人口規模こそ少ないものの、夏場には町外から多数の方が訪れる観光地となっており、そのような中で達成した今回の記録は各機関より大きな評価をいただいています。

平成12年8月以来続いている「輪禍の無いまち積丹町」。今後もこの記録が続くよう交通安全への取り組みを進めてまいります。

～実を結ぶ交通安全への様々な取り組み～

町内各小学校で交通安全教室が開催



4月下旬から5月上旬にかけ、町内各小学校で交通安全指導委員会（的場無縫会長）と各駐在所警察官の協力のもと、交通安全教室が開催され、横断歩道の歩行のしかたや自転車の乗り方についての講習を町内各地区の歩道で行いました。

参加した小学生は指導を熱心に聞きながら、一生懸命実践し、自分たちの命を守る大切なルール的重要性を学んでいました。

商工会女性部が街頭啓発を実施



5月1日、商工会女性部が美国町内の国道で街頭啓発を行い、同会女性部手作りの交通安全祈願のお守り計100個を手渡ししながら交通安全への協力についてドライバーへ呼びかけました。

今後、観光のオンシーズンとなり、交通量の増加が見込まれますが、観光客の皆さんには一件の輪禍も発生させずに積丹町の美しい景色や素晴らしい食を楽しんで帰ってほしいものです。

平成16年以来10年ぶりに積丹町で開催！ 第22回北後志消防大会

5月18日、第22回北後志消防大会が平成16年以来10年ぶりに積丹町で開催され、北後志5カ町村の消防団員や消防職員、来賓などを含め350名が参加しました。

第1会場となる美国中学校グランドで開会し、厳肅な国旗掲揚から始まった本大会、北後志5カ町村の各消防団が日頃の訓練の成果を存分に発揮した部隊演習のプログラムでは、小型ポンプ操法や放水競技などが行われ、素早い資機材の取り扱いと連携したチームワークで競技に当たった積丹消防団が見事優勝に輝きました。

訪れていた地域住民の方々からは大きな歓声が上がっていました。また、この日は5カ町村の消防団員による市中行進も行われ、沿道には多くの観覧者が詰め掛けていました。

午後からは、総合文化センターで、嶋保北後志消防組合管理者（余市町長）による式辞、松井町長による歓迎のあいさつ、宮川秀明後志総合振興局長、市橋修治北海道議会議員、青山卓生余市警察署長、佐藤盛男町議会議長による祝辞が述べられたほか、日本消防協会定例表彰及び余市分会優良団員表彰が行われました。

その後、会場をB & G 海洋センター駐車場に移して行われた一斉放水では、空高く大きな弧を描いた水のアーチに観覧に

多数の関係者の方々にご出席いただき、盛会のうちに終了した本大会。地域の防災力が問われている今、消防団員、消防職員の今後の更なる活躍が期待されます。



表彰を受けた方々は次のとおりです（積丹町のみ掲載）

日本消防協会定例表彰

精績章

今井 諭（団長）

余市分会優良団員表彰

飯田 浩 紀（部長）

鳴海 友 幸（団員）

須田 真 史（団員）

